

ふるさと農村活性化基金事業概要

1. 事業目的

地域の過疎化、混住化、農家の高齢化に伴い、土地改良施設等の適切な管理が難しくなっている。農家のみでは困難となってきた維持管理活動を促進し、良好な維持管理が行われていくことを目的としている。

2. 事業内容

- (1) 地域リーダーの共同活動の支援(維持管理活動、普及啓発イベント)
- (2) 地域リーダーの育成(実績発表会や全国研修派遣等)
- (3) 事業推進体制の整備(幹事会、内部推進委員会、外部推進委員会)

【活動一例】



地域共同の維持管理活動



普及啓発(農業体験等)



実績発表会

3. 事業主体

沖縄県

4. 事業費

「沖縄県中山間地域ふるさと農村活性化基金」は、平成5年度に、国庫補助20,000千円、県負担40,000千円の計60,000千円で造成された。その後、国庫補助金等による積み増しが行われ、平成26年3月末時点の残高は771,100千円(国庫補助256,633千円、県負担513,267千円、利息1,200千円)となっている。この基金の運用益を活用し、各種事業を行っている。

運用益は、平成6年度以降、毎年度約2,000千円～9,000千円の範囲で推移しているが、平成21年度(9,602千円)をピークに減少傾向にあり、平成26年度は約4,014千円を見込んでいる。

【H25活動実績(総括表)】

H 25 北 部 地 区 活 動 実 績

活動名		実績額 (円)	市町村 名	活動時 期	参加対 象者	参加人 数	地域リーダ ー または 活動主体	活 動 内 容	関連農業農村 整備事業
1	3 H22 H23 H24 稲嶺土地改良区環境保全活動	141,750	名護市	11月	農家 区民	40	稲嶺区長	稲嶺土地改良区において、農道沿いの雑木・雑草除去や清掃活動を耕作者と区民が共同で行うことで、連携と協体制の向上を図った。	農林漁業用揮発油税 財源身替農道整備事 業
2	3 H22 H23 H24 真喜屋土地改良区環境保全活 動	141,750	名護市	7月～ 11月	土地改 良区組 合員 農家	24	真喜屋区長	真喜屋土地改良区において、排水路溝の土砂除去や農道沿いの雑草除去を行い機能回復を図ることで、地域の農業振興につながった。	県営農地開発事業
3	2 H24 H25 羽地地域水田活性化及び 環境保全活動	321,300	名護市	11月	部会員 小学生	120	JAおきなわ 羽地水稲 生産部会	水田沿いの草刈りや排水路の土砂除去により、水田の良好な状態の維持に努める。また、コスモスの種まきを行い、地域の景観形成と活性化を図った。	県営ほ場整備事業
4	2 H24 H25 地域の美化活動と文化の伝承	367,500	今帰仁 村	6月～ 1月	区民	285	今泊区長	集落内の土地改良施設を含む農地や集落道等の美化作業を通じて、世代間交流を図るとともに、子供達が地域に愛着を持ち自然と共生する意識を醸成した。	基盤整備促進事業
5	3 H23 H24 H25 新里区共同美化清掃作業活動	294,000	本部町	8月	区民	32	新里区長	区内において、雑木の伐採、花木の植栽等の清掃美化活動を区民共同で行うことで、区民にとって快適でやさしい農村地域づくりに寄与するとともに、地域活性化を図った。	集落地域整備事業
北部地区合計		1,266,300							

H 25 中 部 地 区 活 動 実 績

活動名		実績額 (円)	市町村 名	活動時 期	参加対 象者	参加人 数	地域リーダ ー または 活動主体	活 動 内 容	関連農業農村 整備事業
1	3 H23 H24 H25 前原地区ふるさと農村環境づく り	294,000	うるま 市	7月～1 月	農家 自治会 子供会 老人会	319	前原自治会長	土地改良施設等の除草・維持管理作業を通して、施設機能の回復を図った。また、環境美化活動や施設関連行事等を行うことで、地域住民への参加を促し、施設の重要性を周知するとともに、地域の活性化を図った。	団体営農道整備事業 土地改良総合整備事 業
2	2 H24 H25 伊波っ子の元気があふれるふ るさとづくり	294,000	うるま 市	6月～2 月	自治会 農家 子供会 青年会 婦人会	882	石川伊波自治 会長	土地改良区施設の維持管理、および当自治会が管理する農業用貯水池の環境整備を行うことで、農地の有効利用を図った。また、関連行事を行うことで、地域住民および子供たちの農業への関心を広げ、地域の活性化を図った。	団体営畑地帯総合土 地改良事業 構造改善事業
3	1 H25 宮城地区ふるさと農村ふれあい 村づくり	294,000	うるま 市	4月～2 月	自治会 農家 子供会 老人会 婦人会	175	与那城 宮城自治会長	土地改良施設および周辺地域の除草作業・環境美化活動を通して、地域住民へ施設の重要性を認識させた。また、関連行事を行うことで、地域住民および子供たちの農業への関心を広げ、地域の活性化を図った。	団体営畑地帯総合土 地改良事業
中部地区合計		882,000							

H 25 宮古地区活動実績

活動名			実績額 (円)	市町村 名	活動時 期	参加対 象者	参加人 数	地域リーダー または 活動主体	活 動 内 容	関連農業農村 整備事業
1	新	獅子に護られた集落の里づくり	451,500	宮古島市	8月～9月	自治会 保存会	110	上区獅子舞保 存会	土地改良施設および豊年祭のまつり会場である集落センター周辺の清掃に取り組んだ。また、集落センターは農村集落としての活動拠点なので、周辺を花で植栽することで地域活性化に貢献した。	県営ほ場整備事業 県営かんがい排水事業
2	新	なりやまあやぐと、豊見親の郷づくり	451,500	宮古島市	6月～9月	部落会 実行委員会	213	なりやまあやぐ まつり実行委 員会	土地改良施設および「なりやまあやぐまつり」の会場の周辺の清掃に取り組んだ。また、集落センターからまつり会場までの道沿いを花で植栽することで地域活性化を図った。	県営かんがい排水事業 団体営農道整備事業 団体営緊急畑地帯総合 整備事業 団体営農地保全整備事業
宮古地区合計			903,000							

H 25 八重山地区活動実績

活動名			実績額 (円)	市町村 名	活動時 期	参加対 象者	参加人 数	地域リーダー または 活動主体	活 動 内 容	関連農業農村 整備事業
1	1 H25	平久保サガリバナ地域交流活動	268,800	石垣市	6月～11月	地域住 民 会員 ボラン ティア	150	平久保サガリ バナ会長	平久保地域の農道沿いやサガリバナ周辺の維持管理と保育活動を行うことで、地域の景観向上を図ると共に、地域内外のボランティアと活動を行い交流を促進し、北部地域の活性化を推進した。	県営開拓地整備事業 団体営農地開発事業
八重山地区合計			268,800							

H 25 本庁事務費等

活動名	実績額 (円)	実施主体	活 動 内 容
本庁事務費等	1,558,729	本庁	①H25実績発表会旅費(158,540円) 日時:平成25年9月13日 場所:県庁 参加者:41名(自治会・土地改良区関係者等) ②水土里の路ウォーキング実施に伴う経費(356,630円) 日時:平成25年11月17日 場所:うるま市宮城島 参加者:161名(自治会・土地改良区関係者等) ③事業実践者の全国研修会派遣旅費 ④その他事務費

H 25 実績額合計

各事務所実績額	3,320,100
本庁事務費等	1,558,729
合計	4,878,829

■沖縄県中山間地域ふるさと農村活性化推進委員会(4月30日開催)における主な意見

- ・ 維持管理作業主体となっているため、今後新たな事業展開も検討した方がよい。
- ・ 南部地域における事業実施等、事業充当地区の拡大について検討してほしい。